

令和 2 年度  
第 4 回理事会議案書

**第 1 号議案 令和 3 年度事業計画の件**

**第 2 号議案 令和 3 年度収支予算の件**

**業務執行状況報告**

## 第1号議案 令和3年度事業計画の件

当法人の令和3年度の事業計画案を以下の通り提案いたします。精査のうえ承認を求めます。

### I 基本方針

当法人は、平成28年7月25日、一般財団法人として設立し、公益目的各事業等を着実に行ってまいりました。この実績を踏まえて、平成30年7月26日、北海道知事より法人第1280号指令で公益財団法人として認定されました。

当法人は公益財団法人の目的を定款第3条において、「特別支援学校のスポーツ振興に関する事業を行い、障害のある児童生徒の健全な 発達に寄与することを目的とする」として、その事業内容は定款第4条で「(1) フットサル等スポーツ活動の普及 (2) フットサル等競技会等の開催・助成 (3) フットサル等スポーツ活動の調査・研究 (4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業」と示しました。

このことを踏まえ、令和3年度は、以下に示す事業計画に基づき事業の推進に努めてまいります。

#### 1 定款第4条1のフットサル等スポーツ活動の普及

- 1-1 スポーツ用品の寄贈
- 1-2 フットサル指導員の派遣

#### 2 定款第4条2のフットサル等競技会の開催・助成

- 1-1 2021 第5回小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会の開催

#### 3 定款第4条3のフットサル等スポーツ活動の調査・研究

- 3-1 スポーツ活動に係る実践研究校の指定

## Ⅱ 事業計画

令和3年度 当法人事業の対象とする北海道特別支援学校 74校 令和2年度2校増(表1)

### 視覚障がい

- 北海道札幌視覚支援学校
- 北海道函館盲学校
- 北海道旭川盲学校
- 北海道帯広盲学校

### 聴覚障がい

- 北海道高等聾学校
- 北海道札幌聾学校
- 北海道函館聾学校
- 北海道旭川聾学校
- 北海道室蘭聾学校
- 北海道帯広聾学校

### 知的障がい

- 北海道雨竜高等養護学校
- 北海道札幌高等養護学校
- 北海道札幌稲穂高等支援学校
- 北海道札幌あいの里高等支援学校
- 北海道千歳高等支援学校
- 北海道白樺高等養護学校
- 北海道新篠津高等養護学校
- 北海道小樽高等支援学校
- 北海道伊達高等養護学校
- 北海道今金高等養護学校
- 北海道函館五稜郭支援学校
- 北海道函館高等支援学校
- 北海道北斗高等支援学校
- 北海道旭川高等支援学校
- 北海道美深高等養護学校
- 北海道美深高等養護学校あいべつ校
- 北海道小平高等養護学校
- 北海道紋別高等養護学校
- 北海道新得高等支援学校
- 北海道中札内高等養護学校
- 北海道中札内高等養護学校幕別分校
- 北海道中標津支援学校
- 市立札幌豊明高等支援学校
- 北海道夕張高等養護学校
- 市立札幌みなみの杜高等支援学校
- 日本体育大学附属高等支援学校
- 北海道美唄養護学校
- 北海道南幌養護学校
- 北海道札幌養護学校
- 北海道札幌養護学校 共栄分校
- 北海道札幌養護学校白樺高等学院 令和3年度(2021年度)4月開校
- 北海道星置養護学校
- 北海道星置養護学校ほしみ高等学園
- 北海道札幌伏見支援学校
- 北海道札幌伏見支援学校 もなみ学園分校
- 北海道余市養護学校
- 北海道余市養護学校 しりべし学園分校
- 北海道室蘭養護学校
- 北海道苫小牧支援学校 令和3年度(2021年度)4月開校
- 北海道平取養護学校
- 北海道平取養護学校 静内ベテカリの園分校
- 北海道七飯養護学校
- 北海道七飯養護学校 おしま学園分校
- 北海道鷹栖養護学校
- 北海道東川養護学校
- 北海道稚内養護学校
- 北海道北見支援学校
- 北海道紋別養護学校
- 北海道紋別養護学校 ひまわり学園分校
- 北海道帯広養護学校
- 北海道釧路養護学校
- 国立大学法人北海道教育大学附属特別支援学校

### 肢体不自由

- 北海道岩見沢高等養護学校
- 北海道真駒内養護学校
- 北海道拓北養護学校
- 北海道函館養護学校
- 北海道旭川養護学校
- 北海道網走養護学校
- 北海道白糠養護学校
- 札幌市立豊成養護学校
- 札幌市立北翔養護学校

### 病弱

- 北海道手稲養護学校
- 北海道手稲養護学校三角山分校
- 市立札幌山の手支援学校

### 聴覚・知的

- 北海道釧路鶴野支援学校

### 肢体不自由・病弱

- 北海道手稲養護学校

# 1 定款第4条1のフットサル等スポーツ活動の普及 予算100万円

## 1-1 スポーツ用品の寄贈 予算 80万円

令和2年度実績は、23校、693,496円であった。令和3年度は、2校の新設と東京オリパラの実施による障がい者スポーツへの感心・意欲の高まりがみられることから、約30校、80万円を予算化したい。

寄贈用品は、要望された障がい者スポーツ用品も含めて図1のとおりとする。

### フットサルボール4号球

※スポーツ商品の為、ご注文時に下記の中で在庫の有る商品とさせていただきます



### フットサルボール3号球

※3号球は、ご注文時に下記のいずれかで在庫の有る商品とさせていただきます



### ポッチャ

ポッチャはパラリンピックの正式種目です。障害特性障害者もしくは高齢者身体障害者等のために開発されたスポーツ。障害の有無にかかわらず、誰もが共に楽しめるスポーツとして近年、障害者スポーツや老人クラブ、小学校、地域スポーツクラブで人気があります。



**58UP-520 SET**  
ポッチャゲーム用ボールセット  
¥27,500  
(税別価格 ¥25,000)  
ボール12 (レッド6、ブルー6)、ジャケット、撃撃サークル1、バック付  
ボール:直径約66mm、重量約275g、合成皮革  
ボールの硬さ:ミディアム・ハード  
梱包サイズ:39×33×11cm  
重量:約5kg  
パキスタン製



### ティーボールセットコンビ

品番	品名	本体価格	消費	自重
ETE025	12インチ	¥22,550(税込)/箱	箱	7.1kg/箱

●材質:TE025:樹脂ヘッド (ETE010) / 1本、スプリング (ETE020) / 1本、ボール (ETE020) / 1個  
○共通項目 ●ケースサイズ:長さ430mm×幅430mm×厚さ1.5cm ●材質:ケース・バッキング:ナイロン、ヘッド:ポリウレタン、バット芯材:FRP ●生産国:日本製  
※本製品は、本製品の使用はおすすめしません。



### ティーボールスペアビッドヘッド

品番	本体価格	消費
ETE028	¥990(税込)/箱	箱

サイズ:長さ405mm  
●材質:FRP ●ヘッド受け径:外径5.5mm ●生産国:中国製



ネックフロート	
品番	29341012
モデル	フリー
ピース量	多い
サイズ	55×19cm
価格	¥18,900



RSP-100	
サポートスティック(1本)	¥6,600 (税別価格 ¥6,000)
高さ調節可。	
車椅子の方やかがむのが困難な方に使用頂けます。	
スライドするだけで簡単に調整できます。	

「安心」「安全」に配慮したポリウレタン一体成型コーナースポット。当たっても痛くないやわらか素材。



G-1016	
ソフトモールドコーナースポット	¥13,200(税別 ¥12,000)

●サイズ:緑・赤・黄・黒・オレンジ・紫各1本●高さ31cm×底径20cm●頂部穴径3.8cm●重量300g/本●ポリウレタン製●生産国:中国製



**移動式得点板 U-7AW**

品名	仕様	価格
EKE936	移動式	¥31,350 (税込) / 台

サイズ(高さ)は55cm・幅60cm・奥行55cm  
 ●ネットサイズは45cm×60cm×2cm(2.4cmO.M.)仕様 ●材質はPVC・スチール、文字部は  
 アルミ ●カラーは白 ●重量は30kg (55cm×60cm) ●日本製

**ブラインドスポーツ**

目で見える、音で聴える触れ入りボール。  
 目に障害や聴覚のある人は、触入りのボールで音を頼りにゴールボールやブラインドサッカー  
 などの競技を行います。また、アイマスクを着用すれば視覚者と違い音がとまらなくなるのでプレーする  
 ことができます。



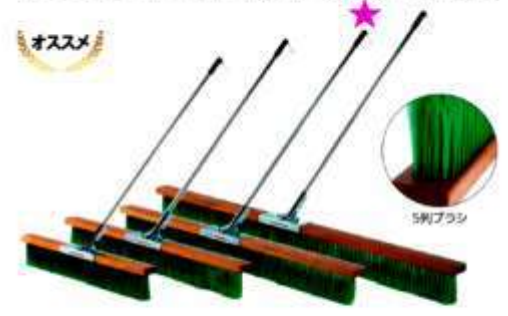
**ISO-BL501**  
 視覚障害者用サッカーボール  
 ¥ 14,300  
 (税別価格 ¥13,000)  
 高さ60cm～62cm、約530g  
 /6ピースタン製  
 国際視覚障害者スポーツ連盟  
 規格品

**耐久性で選ぶならガンガン使えるPVC製**

※長期間の売天下、雨ざらしでの設置は木製部分の劣化を早める原因となり  
 ます。コートブラシ・レーキ類は高品質などへの保証をお勧めいたします。

**コートブラシ NH**

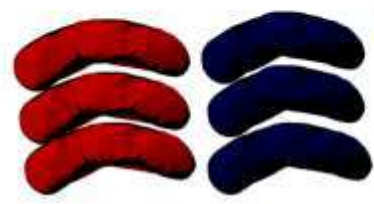
品名	品名	本体価格	消費税	サイズ(長さ×幅)	毛高	自重
EKU306	150	¥15,070 (税込) / 本	[2カ]	152×150cm	10/12.5cm	5.5kg



オススメ



5割ブラシ



**ISO-BL100 SET**  
 アイマスクセット  
 ¥ 5,500  
 (税別価格 ¥5,000)  
 12枚(レッド6、ブルー6)  
 本体:コットン  
 ストラップ:ゴム、マジック  
 テープ留め  
 インド製

図1 寄贈用品リスト

## 1-2 フットサル指導員の派遣 予算 20万円

令和2年度実績は、コロナ感染症の関係で2校、104,920円を執行した。令和3年度はコロナ感染症の影響も予想されるが、後期はワクチン接種などもあるので、4校分、200,000円を予算化する。

また、指導員の派遣報告書は当法人ホームページに掲載するとともに、スポーツ報告書にも原稿が間に合えば掲載することとしたい。派遣に係る費用は、交通費として距離1キロメートル当たり30円、謝金として泊を伴う場合は1日1万円、札幌近郊は1日3000円として、謝金の源泉所得税は外税を基準とした。

表2 令和2年度 フットサル指導員の派遣実施表

令和2年度 北海道特別支援学校 フットサル指導員派遣巡回指導 実施表								
対象校	日時	担当者	備考	派遣者	往復派遣距離 ×30円	派遣費 (1日1万円)	派遣費合計	備考
北海道北斗高等支援学校	12月15日(火) 10:30~17:00	戸倉教諭	授業、部活動指導	吉田	680km×30円= 20400円 高速代 新川~大沼公園 7730円×2= 15460円	1万×1人×2 日 =2万	55,860	実施済
北海道今金高等養護学校	2月22日(月) 10:00~17:00	海田教諭	体育授業、部活指導	吉田	556km×30円= 16680円 高速代 新川~国縫 6190円×2= 12380円	1万×1人×2 日 =2万	49,060	実施済

## 2 定款第4条2のフットサル等競技会の開催・助成 予算 370万円

令和2年度は、コロナ感染症の拡大もあり、2020第4回小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会開催を断念・中止した。令和3年度は、コロナ感染症への配慮とワクチンの接種等の動向を受けて開催するものとして、令和元年度に基づき予算化することとした。

なお、本大会は、江別市教育委員会の協力により、令和3年7月30日(金)、道立野幌総合運動公園体育館で開催するとともに、前泊と後泊予定の100人分は、同施設合宿所を使用するものとする。

また、今年度からこの大会に参加した北海道内特別支援学校での優勝校を、11月6日(土)、札幌市豊平区体育館で開催する一般財団法人日本LCIF主催の「第1回全国特別支援学校フットサル大会」に出場する北海道枠に推薦するものとする。なお、この全国大会の参加費用の全額は、当該財団日本LCIFが支出する。

令和3年度は、現在、コロナ感染症の影響がなければとのことで、台北駐日経済文化代表処教育部黄完超部長より台北市立特殊教育学校及び台北市立啓聴学校の参加希望、また韓国安東愛明学校裴栄哲理事長からの参加希望がある。

これに加えて、令和元年度のカテゴリーⅠ(中等部・高等部併置校)4校、カテゴリーⅡ(高等部単置校)23校、27校(含む、令和3年度も台北市立啓聴学校の参加希望あり)、参加生徒数190名、引率者数86名、合計276名、宿泊者は、前泊者156名、後泊者69名、後後泊(台北市立啓聴学校)12名、合計237名の実績を踏まえて、学校数30校、生徒数220名、引率者数95名、合計315名の参加を見込んでいる。

### 令和元年度経費と令和3年度予算の対比

令和元年度の支出経費を踏まえた令和3年度の予算は、次のとおりである。

なお、学校の移動助成及び宿泊費の増額は、遠距離学校の増加による後々泊の必要見込みのためである。

宿泊は、100名分は運動公園合宿所で可能であるが、約100名は一般のホテル等への宿泊になる。

また、食糧費については、弁当の仕入れを野幌運動公園附属レストランからのスポーツ仕様弁当の増額によるものである。

表3 令和元年度支出と令和3年度予算

区 分	令和元年度支出	令和3年度予算
各学校の移動助成費	673,445円	800,000円
参加者の宿泊費	1,503,164円	1,800,000円
運営役員、審判等の謝金	365,295円	400,000円
優勝カップ等の表彰費	124,836円	150,000円
弁当等の食糧費	272,154円	370,000円
大会パンフレットの印刷費	97,470円	100,000円
大会参加・運営者の保険料	26,920円	30,000円
消耗品・雑費	34,759円	50,000円

### 札幌バスターミナル、高速野幌バス停留所、新千歳空港等からのバス輸送対策

道内各学校から札幌市までの移動は都市間バスでの移動助成を行うとともに、札幌駅から江別市野幌駅まではJR移動費用の助成、野幌駅から運動公園まではJR北海道バスの特別時刻発車バスとすることなど、江別市教育委員会との連携を深めて進めてまいりたい。

### 3 定款第4条3のフットサル等スポーツ活動の調査・研究 予算 70万円

令和2年度は、下表の5校に対して、1校10万円の研究助成を行い、10万円の印刷関連のインク及び紙代として印刷を依頼する北海道小樽高等支援学校の取引先に9.9万円を振り込んで、400部の実践研究報告書を印刷した。

令和3年度は、肢体不自由特別支援学校長会から令和3年度2校の実践研究校の依頼がすでにあることから、助成対象校を6校に拡大して、1校10万円の実践研究を継続して、各校の障害種別によるスポーツ開発及びスポーツ種目等の工夫実践をより推進したい。

表4 令和2年度 実践研究指定校等

学校名	研究担当者	電話番号	メールアドレス
紋別高等養護学校	永易健太	0158241120	nagayasu-kenta@hokkaido-c.ed.jp 男子新体操～創部3年目の成果と課題～
真駒内養護学校	渡邊憲幸	0115811782	<a href="mailto:701606@hokkaido-c.ed.jp">701606@hokkaido-c.ed.jp</a> 肢体不自由特別支援学校間における遠隔会議システムを活用したスポーツ交流(2)
新篠津高等養護学校	松山佳樹	0126583280	<a href="mailto:hokushuukai@hokkaido-c.ed.jp">hokushuukai@hokkaido-c.ed.jp</a> 全国大会を経験した生徒達のサッカーや学校生活における変容
今金高等養護学校	海田 健	0137823121	<a href="mailto:kaida.takeshi@hokkaido-c.ed.jp">kaida.takeshi@hokkaido-c.ed.jp</a> 様々なスポーツを通して各競技のスキル向上を図り、実生活にもつながるルールやマナーの遵守の定着に関する研究
北海道八雲養護学校 (北海道手稲養護学校 三角山分校)	神原幸男	0137-62-3670	kanbara@hokkaido-c.ed.jp 八雲養護学校における体育の取り組み～できる楽しさから、生きる力へ～



## 第2号議案 令和3年度収支予算の件

令和3年度の収支予算案は以下の通りです。精査の上、承認を求めます。

正味財産増減予算書			
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで			
(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
<b>基本財産運用益</b>	0	0	0
基本財産受取利息			0
<b>受取寄付金</b>	8,000,000	8,000,000	0
受取寄付金			0
受取寄付金振替額	8,000,000	8,000,000	0
<b>雑収益</b>	0	0	0
受取利息			0
雑収益			0
<b>経常収益計</b>	8,000,000	8,000,000	0
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	5,400,000	6,000,000	△ 600,000
1 スポーツ活動の普及	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
支払助成金	800,000	800,000	0
旅費交通費	130,000	240,000	△ 110,000
諸謝金	70,000	160,000	△ 90,000
2 競技会の開催・助成	3,700,000	3,700,000	0
支払助成金	2,600,000	2,600,000	0
諸謝金	400,000	400,000	0
表彰費	150,000	150,000	0
食糧費	370,000	370,000	0
印刷費	100,000	100,000	0
消耗品費	50,000	50,000	0
保険料	30,000	30,000	0
3 スポーツ活動の調査・研究	700,000	1,100,000	△ 400,000
支払助成金	600,000	990,000	△ 390,000
印刷費	100,000	100,000	0
食糧費		10,000	△ 10,000
<b>管理費</b>	2,600,000	2,000,000	600,000
役員報酬	270,000	270,000	0
給料手当	1,200,000	600,000	600,000
旅費交通費	320,000	320,000	0
委託費	235,000	235,000	0
租税公課	65,000	65,000	0
食糧費	200,000	200,000	0
支払手数料	86,400	86,400	0
通信費	56,800	56,800	0
消耗品費	56,800	56,800	0
予備費	110,000	110,000	0
<b>経常費用計</b>	8,000,000	8,000,000	0
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	0	0	0
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	0	0	0
(2) 経常外費用			
仕器備品除却損	0	0	0
<b>経常外費用計</b>	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	△ 70,000	△ 70,000	0
一般正味財産期首残高	1,196,016	1,266,016	△ 70,000
<b>一般正味財産期末残高</b>	1,126,016	1,196,016	△ 70,000
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息			0
受取寄付金	8,000,000	8,000,000	0
受取寄付金	8,000,000	8,000,000	0
一般正味財産への振替額	△ 8,000,000	△ 8,000,000	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
<b>指定正味財産期末残高</b>	50,000,000	50,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	51,126,016	51,196,016	△ 70,000



公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会定款第4条に基づく  
小野寺眞悟理事長及び小野寺裕司業務執行理事による業務執行状況報告

○スポーツ用品の寄贈について

このことについて、フットサルボール及び簡易室内ゴール、ポッチャ用具、ティーボール用具、フローカーリング用サポートスティック、柔軟性コーナーポスト、水泳用フロートクッション、コートブラシ、移動用得点版、ブラインドサッカーボール及びアイマスクセットの一般販売価格と値引きによる購入予定価格を折衝したが、寄贈品目の多品目化に伴う1品目当たりの少数化による値引き率の低下と障がい者特殊スポーツ用品の特注化により、年々、値引き率が低下しています。しかし、今後も各品目の値引きの折衝を続けてまいりたい。

○フットサル指導員の派遣について

令和2年度は、コロナウィルス感染症の拡大による学校の閉鎖や各学校の外来者の入校制限が厳しかったことから、指導者派遣は2校にとどまった。令和3年度もこの影響は続くものと考え、派遣校を4~5校としています。しかし、派遣した社福明日佳職員の吉田順省氏の指導力・人間性にもより派遣先の学校からの評価は高いものとして受け止めています。この波及効果として、社福明日佳への高等部校からの就労も多くなっていると聞いています。

○小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会の開催について

令和2年度は、江別市教育委員会の支援もあり、道立野幌運動公園体育館で開催することで決定していたが、コロナウィルス感染症の拡大により、やむなく断念・中止することといたしました。

令和3年度大会も、再度、江別市教育委員会のご尽力を頂き、道立野幌運動公園体育館での開催を確保することができましたので、令和3年7月30日(金)、現在のところ約30校の出場を見込んでおります。

この中には、令和2年の11月段階の個別連絡では台湾から2校、韓国から1校の希望がありますが、これもコロナウィルス感染症との関係で参加断念の恐れはあります。

何よりも、日本のライオンズクラブの皆さんが昨年5月に設立した一般財団法人日本LCIFが全国特別支援学校フットサル大会を今年から開催することになりましたので、本法人が開催する小野寺眞悟杯は、この全国大会の北海道予選を兼ねる大会とすることにしました。

○スポーツ活動の実践研究校の指定について

このことについて、肢体不自由特別支援学校校長会から、令和3年度から肢体不自由特別支援学校としてのスポーツを充実させたいので、2校の指定枠を頂きたいとの連絡がありましたことから、次年度以降は6校の指定校を考えてまいりたい。